

## 北九州市立大学生生活協同組合 2026通常総代会開催のご報告

- 日時 2026年5月23日(土) 10時00分～12時00分
- 場所 北方キャンパス にしめたパーラー(生協パーラー)
- 総代総数108名、出席90名(本人25名、書面65名、委任0名)



<総代会議案>

- 第1号議案 2025年度事業報告書・決算関係書類等承認の件
- 第2号議案 2026年度事業計画及び予算決定の件
- 第3号議案 役員報酬決定の件

役員選挙の件

- ・28名の総代さんから事前に寄せられた意見や質問に加え、当日出席された総代さんのグループ討論で出た声について、理事会のまとめの中で主なものに回答しました。
- ・全での議案が賛成多数で承認され、役員立候補者全員が信任投票で当選、就任されました。

財務状況		単位：千円		損益状況		単位：千円	
流動資産	290,695	流動負債	302,947	供給高(組合員利用高)	784,270		
現金預金	37,386	買掛金	66,405	供給剰余(粗利益)	192,532		
供給未収金	14,300	前受金	162,460	手数料収入	40,333		
商品・原材料	68,937	その他	74,082	事業総剰余	232,868		
前渡金	25,026	固定負債	11,390	人件費	133,051		
未収金	51,255	退職給与引当金	9,381	物件費	97,614		
その他	93,791	組合員資本		事業経費計	230,665		
固定資産	60,775	出資金	116,483	事業剰余金	2,202		
有形固定資産	26,331	剰余金	△79,350	事業外収益・費用	15,367		
無形固定資産	922	当期末処理損失金	79,350	経常剰余金	17,569		
その他固定資産	33,521	うち当期剰余金	16,737	特別利益・特別損失	-		
資産合計	351,470	負債・総資産	351,470	法人税等	832		
				当期剰余金	16,737		
				当期末処理損失金	△79,350		

- 25年度は前年度より+4,760万円、+6.4%増加して7億8,427万円の組合員利用がありました。パーラーの閉店時間を16:30から18:10に延長、食堂の導線や厨房内レイアウト変更、北方ショップでの内製パンや弁当の取り扱い拡大でパーラーの混雑緩和に取り組むなどにより、全店合計の利用者数は約+26,500人、+5.7%で494,200人でした。キャンパス別では北方が伸張したのに対して、ひびきでは食堂の長期休暇中を閉店し、メニューの絞り込みと夕食営業を中止したことにより、利用者の減少につながりました。
- 新学期活動では、パソコンの利用が614台を超過、生協加入はやや減少しましたが、共済の加入は増加しました。公務員スタート講座が大きく伸張しました。新入生のミールシステム申込は減少しましたが、在校生のリポート利用が増加しています。
- 公務員講座では国家総合職で1名の合格をはじめ、国家一般84名、地方公務員109名で前年を上回りました。
- 学生総合共済では、25年度は229件、2,299万円の共済金をお支払いすることができました。
- 25年度の当期剰余金は1,673万円の黒字決算により、前年度までの累積赤字9,608万円は、7,935万円に削減することができました。
- 26年度も、北方ショップの売り場半減とコンビニ出店の影響はありますが、組合員から「やっぱり生協がいいね」と思ってもらえる生協づくりをすすめ、組合員利用高は8億2,450万円(対前年+5.1%)、物価上昇等の事業経費が増加する中でも、経常剰余は3万とわずかですが、さらなる上積みを目指します。
- 総代会終了後の第1回理事会において、理事長：辻井洋行先生(基盤教育センターひびきの分室)、専務理事：磯崎修治(生協職員)が互選されました。

これから1年間、よろしくお願いいたします。

2026年度北九州市立大学生生活協同組合理事会